

7月に入ってから天候が安定せず、折しも新型コロナウイルス感染症の広がりもあり、各ご家庭でもお子さんをはじめご家族の健康・体調管理に日々腐心しておられることと思います。

「病児病後児保育ほほえみ」も開設して3年目になり、年間利用延べ人数も令和3年度は557名でした。子どもが育つ過程において「病気」は避けては通れません。様々な「病気」を経験することで子どもの体はいろいろな抗体を得て強い体になっていきます。「病児病後児保育ほほえみ」では、お仕事等で看病ができないご家族に代わって、お子さんの病状に応じたきめ細やかなケアを心がけ、一日も早い回復を目指して保育看護を行っています。

さて、先般長崎大学大学院の森内氏の研修を受ける機会がありました。「保育園のCOVID-19」と題し、コロナ禍での保育で気を付ける事柄についてお話を聞きました。お話の中で印象に残ったのは子どもにとって感染対策は時と場合によってはデメリットも伴うこと、特にマスクを着用して保育を行うことや、学校における度重なる学級閉鎖・自宅待機による副作用として、将来の学力低下・経験不足・コミュニケーション能力の低下などの状況が出現する懸念があるという内容についてでした。私たち保育関係者はこのような点も踏まえつつ、今後も個々で基本的な感染予防対策を日々行っていくことの大切さを強く感じました。

これからまだまだ暑い日もあり熱中症も心配されます。特に小さいお子さんは重症化しやすいですので気をつけたいですね。日々のお子さんの体調のことで、心配なことやわからないことなどありましたらお気軽にご相談ください。

お子さんへの

"新型コロナワクチン" 打つ!? 打たない!?

新型コロナウイルス・オミクロン株の流行に伴い10歳未満の子どもたちの感染者が急激に増えました。

5~11歳用のワクチンは、含まれるmRNA量が1/3と低いため、副反応症状が出るのが非常に少なく、その程度も軽いことが分かってきました。

感染すると子どもでも、時に重症になったり、まれに命を落とすこともあります。

今シーズンはインフルエンザ、RSウイルスとの"同時流行"も懸念されています。

ワクチンを接種して重症化を防ぐことは、子どもたちにも必要です。

メリット・デメリットなど正しい情報を十分理解した上で、子どもたちにも是非ワクチンを受けさせてあげてください。

子どもたちを守るには、ワクチン接種は大きな意味を持つと思います。

(日本小児科医会ブログより抜粋)

----- 及川医師から頂いた資料を掲載しますのでご一読ください。 -----

5歳から11歳のお子さんへの新型コロナウイルスワクチン接種を迷っている保護者の方々へ

新型コロナウイルス感染症のために、お子さんが重症になったり、後遺症を残すことがあることが報告され、脳症でお亡くなりになった女児の保護者の方は、「怖がらないでワクチンの接種も考えてほしいと伝えていただきたい」とメディアを通じてコメントされています。保護者のお気持ちを察するに余りあります。

新型コロナワクチン(mRNAワクチン)には、新型コロナウイルスの持つ巨大な遺伝情報のごく一部だけが使われていて、接種された時に体内で起こる反応は、新型コロナウイルスに感染した時に起こる膨大な反応のごく一部です。保護者の中には、ご自身の接種の際に高熱や疼痛が強くて、お子さんの接種をためらう方もいらっしゃると思いますが、お子さんの接種後の発熱や痛みは大人と違って、とても軽いことやその頻度が低いこともわかってきました。また妊娠中の接種の有効性はもちろん、胎児への安全性も確認されています。

今後新型コロナウイルスがこのまま収束するかどうかはだれにもわかりません。ワクチンの感染防止の効果については弱いかもしれませんが、**重症化を阻止する効果は十分期待できます**。ワクチンを接種して、**重症化や後遺症を防ぐことは、子どもたちはもちろんその家族を守るためにも必要と**考えます。

ほほえみてこんなところです



朝はおやつを食べて
ご機嫌♡



楽しいおもちゃが
たくさんあるよー！



給食♡

下痢や食欲のないお子さん
はうどんに変更してもらう
ことができます



もしもしようね



お子さんが病気になると

お母さんの気持ち

病気の時、子どもの側にいることが出来ず「かわいそう」「申し訳ない」とネガティブな気持ちに・・・

子どもの姿は

慣れない場所で、知らない人に、不安で初めは泣いてしまうお子さんも・・・

ほほえみに来ると

保育士や看護師と個別の関わりをしていくうちに、笑顔で遊び出します。

そして「楽しかった」「おもちゃの保育所（ほほえみのこと）にまた行きたい！」と嬉しい言葉をいただいています。

ほほえみは、保護者にとって“安心して預けることができる場”子どもにとっても“安全で安心して過ごすことができる場”となるようにこれからも努めていきます。

今年度も7月2日に見学会を開催しました。今年は6月中頃から新型コロナ感染者が増えあちこちで行事が中止されたところが多くありました。ほほえみでも、今年は当初予定していた内容を縮小して、来所された方の見学と、おやつ配布のみをしました。来年は、にぎやかに開催できることを願っています。また、見学と登録の希望はいつでも受け付けております。ご連絡ください。



2家族6人が来所され、保育室のおもちゃで遊んだり、お土産をもらってにっこり笑顔でした。



スタッフです



8月13日（土）15日（月）16日（火）は、お休みさせていただきます。